



Special Olympics Nippon / Hokkaido

スペシャルオリンピックス日本・北海道

No. 50

北海道

事務局：〒094-0005 北海道紋別市幸町3丁目2-26「茶番館」内 電話 0158-23-6081 fax 0158-23-6070

広報事務局：〒096-0010 北海道名寄市大通南5丁目7「北方印刷所」内 電話 01654-2-2337 fax 01654-2-2115

<http://son-hokkaido.org/>
e-mail son_hokkaido@son.or.jp

全国ボーリング場協会主催SOボーリング大会開催 第60回なよろ憲法記念ロードレースに有森理事長来道 陸上競技コーチクリニック開催 各地区会情報



ボーリング大会で男子部優勝した木村君の力投!!
後方では、ボーリング場協会の役員がそのレベルの高さに驚嘆していました。



2013年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・ピョンチャン（韓国）に
アルペン競技にアスリート岡野 滯さん（紋別）
コーチ大黒伸一さん（名寄）の選出が決定!!!



ボウリング場協会大会SO部門

全道SOアスリートが紋別で交流大会

日本ボウリング場協会が主催



男子部門の表彰者

日本ボウリング場協会（池田朝彦会長）が主催したスペシャルオリンピックスボウリング交流大会が5月15日、紋別市ローヤルボウルで開かれました。スペシャルオリンピックス日本・北海道の各地区のアスリートら20人が参加し、2ゲームトータルの個人戦で優勝が争われました。

日本ボウリング場協会は日頃、スペシャルオリンピックス日本の活動に対して積極的に関わっている団体で、今回の交流大会はこれら活動の一環として北海道ボウリング場協会（黒田信幸会長）が主管して行われました。

日頃全道各地区でボウリングの練習プログラムに取り組んでいるアスリートにとってはその成果を試す機会となり、各地区のコーチやファミリーも多く駆けつけました。

競技はアスリート同士で優勝が争われましたが、日頃アスリートを指導するコーチもゲームに参加して行われ、この日レーンに立ったのは30人、ストライクやスペアーに大きな歓声と拍手が沸き起こり、終始緊張感を漂わせながらも和やかない大会となりました。

大会には日本ボウリング場協会の中里則彦会長や北海道ボウリング場協会の黒田会長ら役員、紋別ボウリング協会のメンバーらが見守り、ボランティア、ファミリーなどの応援を受けて、高スコアが続出しました。

表彰式では黒田会長から「日頃の皆さんがしっかり練習していると感じました。これからもボウリングを大いに楽しんでください」とアスリートに呼びかけました。また東京から駆けつけた主催者の中里会長も「ボウリングをもっともっと多くの人に行なってもらいたいと思っています。ボウリングの楽しさを伝えていってください」と挨拶しました。



ボウリング協会会長挨拶

なよろ憲法記念ロードレース

第60回なよろ憲法ロードレース

なよろ健康の森陸上競技場

桜だよりがやっと北海道に届きはじめて5月6日、なよろ健康の森陸上競技場は風が強かったものの春陽心地よい絶好のランニング日和を迎えました。名寄、紋別から5名のアスリートが参加。伴走コーチ、ファミリーや、大会を支えるボランティア、そして大声援応援団など、たくさんのSOメンバーがロードレースを楽しみました。

初めて長距離に挑戦した小学生アスリート、目標タイムを持って挑戦したアスリート、みんなが最後までしっかり頑張り、全員完走。

また今回は、第60回大会を記念して、オリンピック女子マラソンメダリスト有森裕子さん（SO日本理事長）が、前日の記念講演、そしてゲストランナーとして招聘されており、SON-北海道参加者は、有森理事長からの熱いエールを受け、親しく交流する時間を持つことができました。



有森理事長を囲んで



陸上コーチクリニックinなよろ

コーチクリニック参加の感想

名寄市立大学SOサークル 2年 森田 菜美

私は今回、初めて陸上のコーチクリニックに参加しました。SOサークルに入ってから、今まで色々なプログラムに参加してきましたが、アスリートとの接し方やコミュニケーションの取り方については、まだまだ慣れていない部分が多く、ごちない対応になってしまうことがあります。

そんな中、コーチクリニックに参加して、実技と講義でプログラムの組み立て方や、具体的な支援方法、スペシャルオリンピックスの歴史などを学ぶことで、今の自分に足りないものがわかったので、とても良い勉強になりました。

今回のコーチクリニックで得た知識を、これからのプログラムで活用していきたいと思います。そして、アスリートが持っている力を引き出せるような声かけや、スポーツが楽しいと思ってもらえるようなサポートができるように、一生懸命頑張っていきたいと思っています。



SON宮城(仙台市)から佐藤講師を迎えて

名寄大学SOサークル 1年 和泉 千春

私はこの3ヶ月で何度かSOの活動に参加しましたが、正直難しいことやわからないことが多くありました。そんな中で今回の陸上コーチクリニックに参加してみると、陸上やSOのルールを学べ、実際に体を動かすことで陸上の楽しさを身をもって感じることができました。

そして陸上のこと以外にもアスリートとのコミュニケーションのとり方やプログラムの約束事などコーチとして最低限知っておかなければならない基本的なことも学ぶことができ、本当に少しですがコーチとしての自信をつけることができました。

この自信を少しずつでも大きな自信につなげられるよう今後の活動に活かしていきたいと思っています。そして今回私が佐藤さんに陸上の楽しさを

を教わったように、今度は私がアスリートたちに達成感を味あわせ自信につなげ最高の楽しみを感じてもらえるよう、アスリートさんたちのことを一番に考え、常に色々な工夫をしていけるコーチになりたいと思っています。



スタートの講習

札幌地区会から

『スケートプログラムに参加して』

札幌地区会アスリート 平見 篤志

ぼくは、スケートで、スイングロールとバックとクロスを練習しています。スケートは、むずかしいですが楽しいです。これからもいっぱいすべりたいです。ともだちとすべるのがおもしろいです。

ファミリーコーチ 平見 久美子

札幌地区会では、2012年度親子参加のプログラムとして、スケートに取り組んでいます。通年一般開放している月寒体育館で、皆さんのあたたかい眼差しの中練習しています。

全くスケート靴をはじめてはくアスリートから スイスイと滑れるアスリートまでさまざま!! コーチやファミリーが、アスリートについて行くのに四苦八苦の場合もありますが、こわごわ氷の上に立っていたアスリートが、笑顔で自力滑走する姿は感動です。これからもアスリートが自分で靴をはく、よりきれいに滑る等の各々の目標にむかって楽しく滑走することを願っています。



ローカルミーティング開催決定

第6回ローカルミーティング開催要項 (案)

SON北海道は14年目を迎えました。今年度はNPO法人化への取り組み、事務局札幌移転と活動の発展を目指します。このミーティングを通してSOの理解をより深め、アスリートの健康と自立を応援しましょう。

プログラム

10月13日(土) 開会式会場：札幌市産業振興センター（札幌市白石区東札幌5条1丁目）
講演 SO日本会長 三井嬉子
*同時に、アスリートケア（お楽しみプラン）
研修会 未定
懇親会 会場：札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）

10月14日(日) 交流会
ボウリング会場：琴似サンコーボウル（札幌市西区琴似北2条西21丁目）
閉会式・昼食・解散

※時間は確定後に連絡します。

企業・団体賛助会員名

平田歯科医院、まきむら歯科医院、(株)幸栄商事、林税理士事務所、渡部歯科医院、(株)大栄建設、大日寺北栄建設産業(株)、タナカスポーツ、(株)紋別セントラルホテル、紋別ゴルフセンターサンロード
医療法人社団若松歯科医院、(有)まるしめ敬礼商店、広瀬歯科医院、(株)川村建設、井山等税理士事務所
(株)小熊工業、グランドスナック大政、紋別みなと病院、(株)ソーゴー、妙進寺、妙進寺婦人会、(株)マツデン
河野歯科医院（以上紋別市）

あかいし内科医院、(株)五十嵐組、おいしく、海晃グループ本部、(株)丸徳木賀商店、(株)喜信堂
(株)こころ保険、(有)小谷自動車整備工場、(有)ゲンキハウス、(株)スキル、(株)高橋組、

たに内科クリニック、(株)名寄新聞社、北星信用金庫、(有)なるみ菓子店、グランドホテル藤花、(株)真鍋組
三浦自動車(有)、メナード化粧品名寄代行店、(有)ミヤザキスポーツ、医療法人臨生会吉田病院、
名寄振興公社、(有)トータルメンテナンス、さんべい動物病院、カワハラクレーン(株)、藤田産業(株)
大野土建(株)名寄支店、(株)北方印刷所、(有)上松産業、東洋社、定木税務会計事務所、梅野 博事務所
(株)Linkle（以上名寄市）

三好歯科クリニック、(株)玄米酵素（以上札幌市）

山田歯科医院（以上函館市）

6 月末日現在・順不同、敬称略）

正式名称と違う表記の場合はご容赦、ご連絡ください

協賛企業・団体

サッポロビール株式会社、（財）北海道ボウリング場協会、
名寄朝日ボウル、（名寄市）、紋別ローヤルボウル（紋別市）

国際ソロプチミスト札幌ハーモニー、富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス端数倶楽部（札幌市）

編集後記 一年も半分が終わり、後半になりました。歳のせいにはしたくありませんが一年は早いものです。各地区会においても、プログラムや各行事などで忙しい時期でもあるかと思いますが、そんな中でアスリートの頑張る姿、笑顔を見た時には癒されます。今、北海道地区が新たな活力を発揮するためにも、今秋開催予定のローカルミーティングに参加し、多くの方々にしっかりとSOの活動を正しく理解していただくことが大切です。